

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業		
事業主体 (連絡先)	牛伏鉢伏友の会	代表者：加藤 輝和	松本市内田 2151-4 tel 0263-58-8295
事業区分	401 地域防災力の向上 703 生涯を通じた学びと文化スポーツに親しむ環境作り		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	893,138円 (うち支援金 467,000円)		

事業内容

牛伏川の歴史的砂防施設を防災遺産として地域により広く知ってもらうため、現地調査、現地案内活動、現地の環境整備に取り組む。また「防災遺産学習講座」を開催し、市民自らが案内活動に取り組める人材を養成する。

- ・7月～12月 防災遺産学習講座5回実施
- ・4月～12月 牛伏川流域現地調査
- ・独自資料、案内看板の作成等

事業効果

- ・支援金による防災遺産を詳しく、わかりやすく伝えるパンフレットなどの資料づくりが可能となり、市民により理解を広めることができた。
- ・防災遺産学習講座に定員をこえる参加があり、意欲的な学習、現地での実習を通じて、約20名の案内人が誕生し、実際の見学案内に取り組めた。
- ・連携団体と牛伏川流域の砂防施設や地形調査などに取り組み、今迄未解明であった施設の発見を含め、報告書の作成につなげることができた。
- ・行政や地元との協力により、周辺環境整備(草刈り)等が効果的に実施できた。

今後の取り組み

- 1) 市民の財産として防災遺産牛伏川の魅力をさらに広めるため、関係団体、県市などの行政機関と連携した活動に取り組む
- 2) 案内人の増加、(継続者、新規参加)をわかりやすく、充実させるため「インストラクター」制度の確立を図る。
- 3) 今での活動を成果ふまえ、現地への誘導案内の改善、案内用パンフレットの改定、県内、県外にPRできる資料づくり、宣伝体制の充実をめざす。



防災遺産学習講座
講座参加者が案内人として活動

※1 自己評価 (事業効果) 【 A 】

- 【目標・ねらい】
- 防災遺産の魅力発信
 - 市民参加
 - 健康作りなど市民の関心アップ
 - 整備活動参加者の拡大

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

【理由】
行政機関と協力し、市民が公共施設を防災遺産として活用する事業に着実に取り組めた。
まだその数は不十分であるが、現地見学に訪れる市民、団体が増加している。

※自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある